

Future Earth アジア地域センターの活動報告（2018 年 5 月-8 月）

2018 年 8 月 28 日

総合地球環境学研究所

Hein Mallee

1. ガバナンス・運営

1-1. 以下の通り、アジア・パシフィック地域において、Future Earth 推進組織が発足、あるいは発足に向けた準備を進めている

1-1-1. 準地域オフィス

- オーストラリア・パシフィック準地域オフィスが設立を準備中

1-1-2. 国内推進組織

- モンゴル：Future Earth Mongolia が発足（2018 年 6 月 8 日）。初代委員長は、モンゴル国立大学の Prof. T. Chuluun が務める。
- フィリピン：Future Earth Philippines Program (FEPP) が 2018 年 8 月より稼働開始、11 月に正式発足の予定である。本プログラムは、Prof. Lourdes J Cruz (National Scientist) を中心に、開発が進められている。
- インドネシア：第 6 回 JABODETABEK 国際フォーラム（2018 年 8 月 29-30 日、Bogor）にて、Future Earth 発足に向けたセッション実施予定。

2. 研究アジェンダ開発

2-1. 「持続可能な消費と生産に関する知と実践のためのネットワーク（Knowledge-Action Network on Systems of Sustainable Consumption and Production）」の Research and Engagement Plan が、Future Earth 本部に正式に承認された。本 KAN は Future Earth アジア地域センターが開発支援を行うものである。

2-2. Future Earth Regional Engagement Workshop を開催予定（2018 年 10 月 1-3 日、於：地球研）。Future Earth 国際事務局およびアジア地域を中心とした各国・準地域の代表が参加し、Future Earth が新たな活動方針として掲げる Global Systemic Challenge Initiative の課題策定にあたり、今後の地球-地域-国のトランススケールでのより密接な相補的で効果的な連携戦略について議論をおこない、とくにアジア的視点を Future Earth のアジェンダ設定に反映させることをめざす。